

【一般の部 最優秀賞】

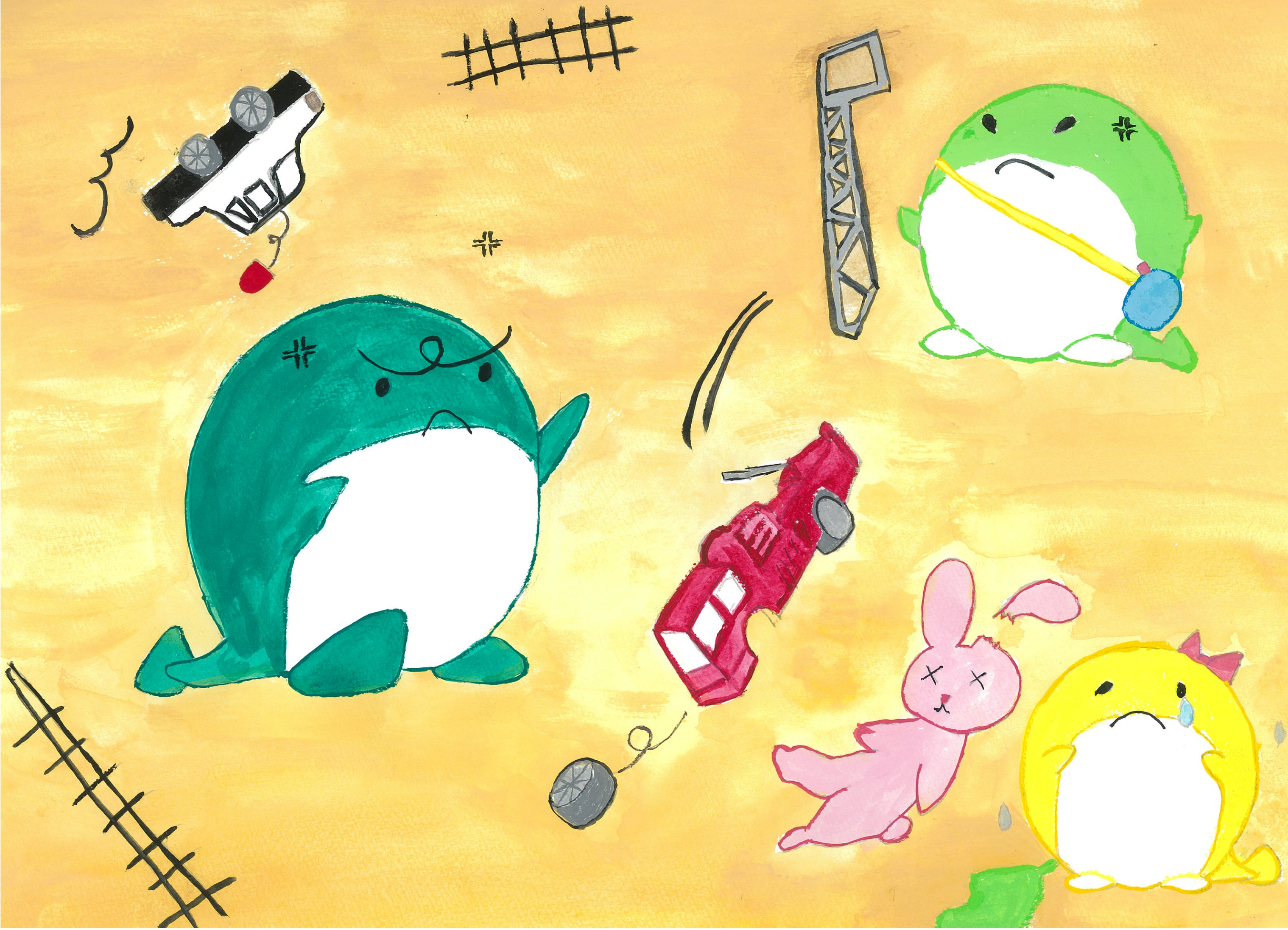
作品名 ゴミにしてもいいの？

作者 エコひさい

(1)

ゼロ吉、ゼロ助、ゼロ美の兄弟はいつも仲良く遊んでいます。
ところが とうしたことか・・・。

ゆっくりぬく



(2)

【ガッシャーン】

ゼロ吉「僕の 大事な はしご車こわれたじゃないか。」

ゼロ助「お兄ちゃんも パトカーをこわしただろう。」

ゼロ美「私の うさぎちゃんも耳がとれたよおー。 ウエーン。」

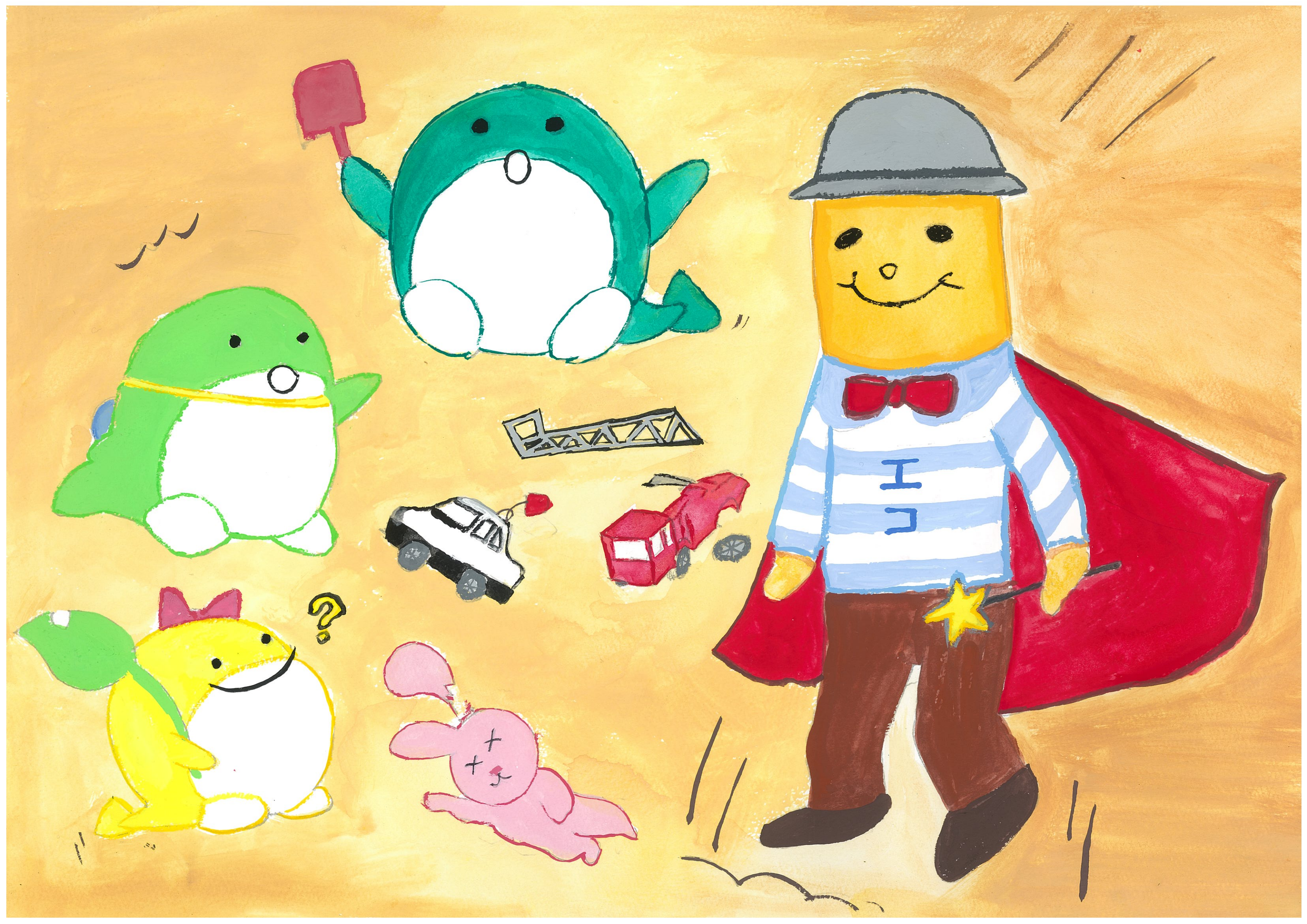
しばらく間をあける

ゼロ美「また 新しいの 買ってもらうからいいや。 捨てちゃえ。」

ゼロ吉「それなら 僕も捨てちゃえー。」

ゼロ助「捨てちゃえー。」

ぬく



(3)

【ヒューン ジャジャーン】

エコマン「ダメダメ 捨てちゃダメだよ。」

ゼロ美「ああ びっくりした あなたは だれなの。」

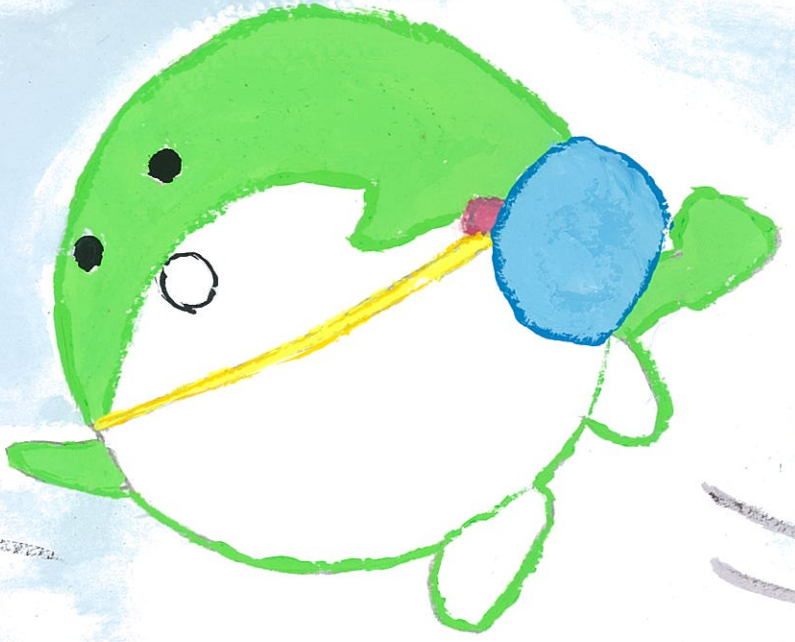
エコマン「僕は エコロジー星からやって来た エコマンです。み

んなに 物を 大切にすることを 伝えるに 来たんだ。

君たちに 見せたい物が あるんだ。ついて来て。

しっかり つかまっけてね」

ぬく



(4)

エコマン「ほら ついたよ。よく見て」らん。

ゼロ助「ここにある おもちゃは、みーんな ゴミ?」

エコマン「そうだよ! いらなからってすぐに 捨ててしまうと

ゴミになるんだ。」

ゼロ吉「えっ そうなの! まだ 使えるのに ゴミなの?」

ゼロ美「くまちゃん、こんなに きれいなのに ゴミだなんて・・・」

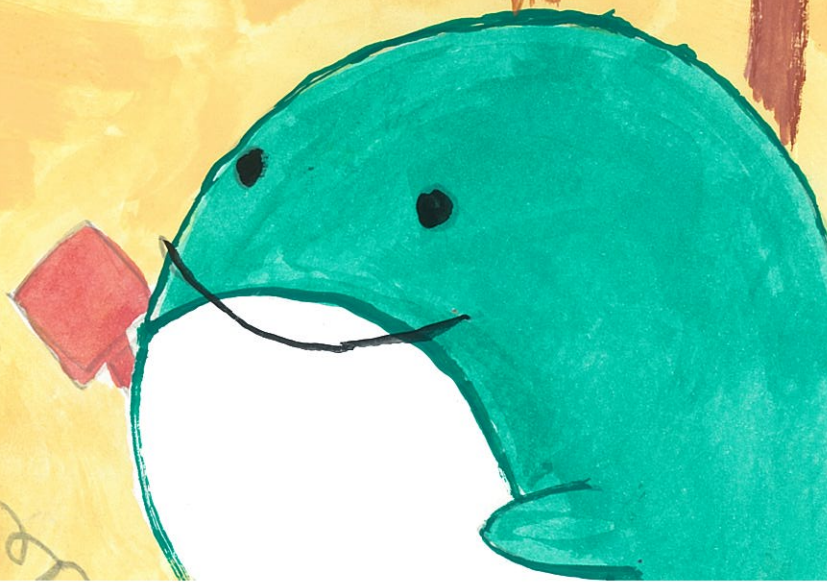
エコマン「では、 こんどは とってもいい所へ 案内しよう。」

ぬく



+

おもちゃのびょういん



ゼロ美「ここはどこ?」

エコマン「ここはおもちや病院だよ!おじさんたちが こわれた

おもちやを 直しているんだ。よく見ていてごらん。」

ゼロ助「ネジが いっぱい あるよ!おじさんが おもちやにあう

ネジを さがしているよ。」

ゼロ吉「直すための 道具も あるよ。」

ゼロ美「あつ おもちやが動いた!直ったのね。」

ゼロ助「うわあー、おじさんたちすごいなあー。」

ゼロ吉「おもちやの お医者さんだね。」

ゼロ美「じゃあ、私の ウサギちゃんも直るかな?。」

エコマン「もちろんさ」

ぬく

REDUCE

リデュース

ごみを
へらす



(6)

エコマン「ところで 君たちはリデュースという 言葉を知っているかい。」

ゼロ美「知らないわ。」

エコマン「リデュースというのはね、ゴミを 減らすという 意味なんだ。

たとえば、おもちゃを 直して大切に使えば リデュースにつながるよ。次々に おもちゃを ゴミにしているのは、地球が ゴミだらけになるんだ。

ものを 大切にしていれば ゴミを減らして いこうね。

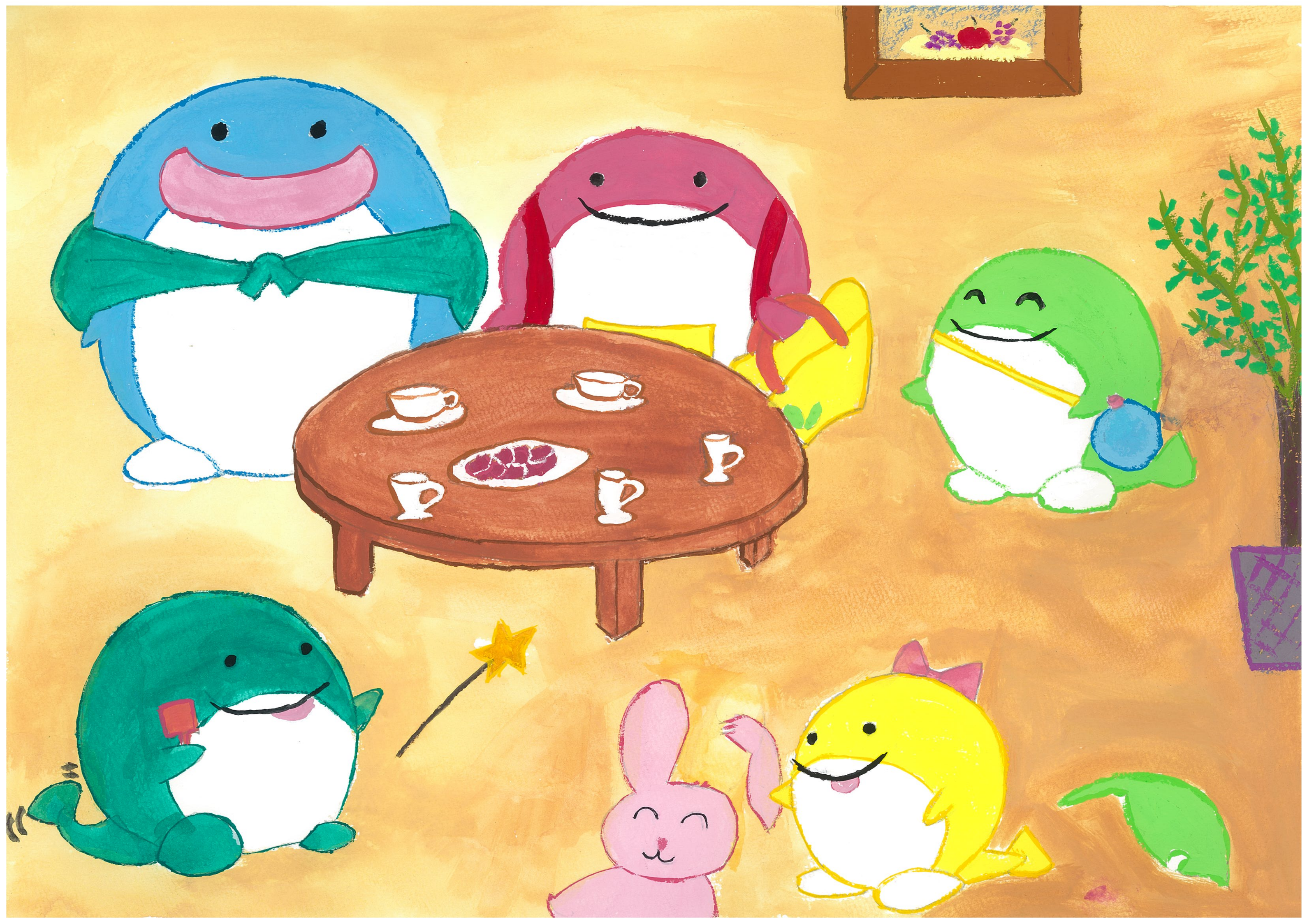
そろそろ 僕の星に 帰る時間が 来たようだ。皆さん さようなら。」

ゼロ吉・ゼロ助「ありがとう、 さようなら」

ゼロ美「さようならー」

【 ヒュー 】

ぬく



(7)

家に帰り さつそく ゼロ吉たちはパパとママに エコマンに 会った事 見た事を 一生懸命に 話しました。

パパとママも うなずきながら しんけんに 聞いてくれました。

ゼロ美「ママ、うさぎちゃんの 耳直してくれる?」

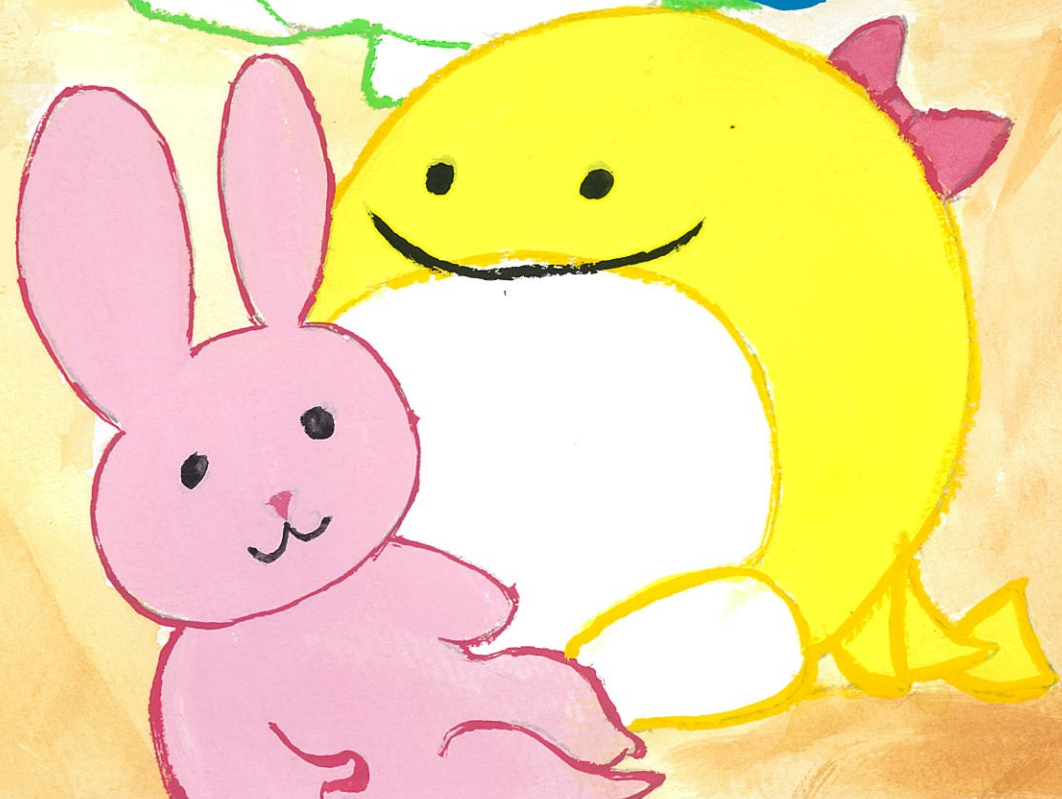
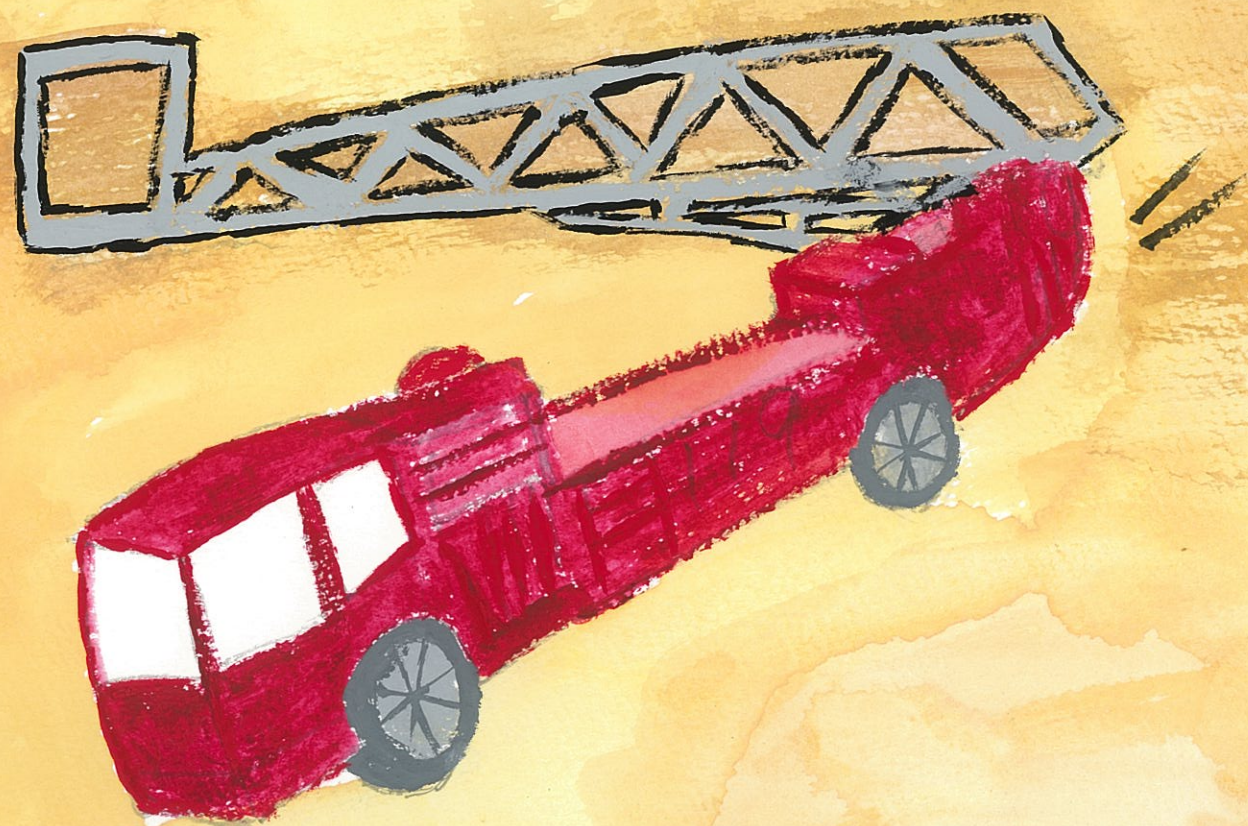
ママ「いいわよ! さいほう箱を出してくるわね。」

ゼロ助・ゼロ吉「パパ、僕たちのも 直してよ。」

パパ「ようし、 道具箱を とってこよう」

パパとママが おもちゃ病院のおじさんたちのように 見えました。

ぬく



【ジージー】

ゼロ吉「わーい、動いたー!」

ゼロ助「僕のも。」

ゼロ美「私の うさぎちゃんも ほら、ちゃんと 耳が ついてる
わ。」

ゼロ助「お兄ちゃん 捨てなくて良かったね。」

ゼロ吉「うん、ゴミに ならなくて良かった! 地球を ゴミだら
けに するところだったよ。」

ゼロ美「うさぎちゃんと また 一緒に遊べるなんて うれしー
い!」

ゼロ吉「僕らは 物を 大切に、ゴミをなるべく 減らす。
身の回りの 出来る事から 始めていけば いいんだ。

そうすれば きっと 地球を守っていけるさ。」

ゼロ助「僕も がんばるよ。」

ゼロ美「私も。」

おしまい